

きょうと通信 No. 10

2002 年 6 月

事務局：医療法人高木神経科医院デイケアおいけ内
〒604-0845 京都市中京区烏丸通御池上ル都ビル 2 階
TEL075(222)0452 FAX075(222)1052
e-mail kyo-psw@mbbox.kyoto-inet.or.jp

京都精神保健福祉士協会 第 2 回総会 報告

2002 年 5 月 18 日(土)13 時 10 分より京都市職員会館「かもがわ」において第 2 回総会が行われた。

全会員 135 名中出席者 34 名、委任状出席 53 名で、本会規約第 11 条の 4 に基づき全会員の過半数の出席と委任状の提出によって本総会が成立した。

司会の杉原氏より議長の立候補を出席者に募り、宇治保健所の是恒氏が出席者の承認の下議長に選任された。是恒氏が議長となり会議を進行した。

中瀬会長より挨拶（要旨）

昨年 5 月京都 PSW 協会が発足し、第一回総会が行われた。発足当初会員が 70 名であったのが現在 135 名と倍加した。

精神保健福祉情勢は、大きく動いている。常に新しい情報をキャッチし、正しく認識し、自分で切磋琢磨することが大切である。その一端をこの協会が担っている。

平成 13 年度の活動は、例会を中心に会員間の交流と質の向上に努めてきたが、平成 14 年度は、精神保健福祉行政にも発言や行動を起こして行きたいと思っている。

会員の声を聞きながら充実した会にしていきたいと思っている。会員からも積極的に意見、要望を言ってほしい。

第 1 号議案 事業報告（上田正人氏）

平成 13 年度活動報告として、月例会を開くことを計画していたが実行された。例会出席者は京都 P S W 連絡協議会の時と比べ 2～3 倍に増えた。会報の充実や資格者が増えたことで関心が大きくなったのではないと思う。

会報は、会報担当の 4 名で編集し、出席できなかった会員にも例会の内容を伝えていくことを目標に「ライブ形式」で作成された。

その他、協会としての意見発言をおこなってきた。

第 2 号議案 決算報告（加納誠氏）

決算書に沿って報告。

監査報告（会計監査の家原敏彰氏）

- ・ 会員が例会の講師をした時に会員に講師料を払うのはおかしいのではないか。
- ・ 会費未納者についての徴収を検討すること。

- ・ 事務局と会計担当の所属が別なため、事務処理が煩雑になっていることへの対処を工夫する必要がある。

第1号議案、第2号議案の承認

拍手を持って承認された。

2002年度役員体制について提案（杉原努氏）

議案書のとおり

規約の制定について（規約18条関係項目）提案（杉原努氏）

- ・ 謝金及び講師交通費について、外部講師、内部講師に分けて定める。なお、内部講師については、資料代という名目に変更する。
- ・ ほか議案書のとおり

第3号議案 事業計画（西村睦美氏）

2002年度事業計画について

- ・ 例会企画に会員の意見を反映するためアンケートを取り入れる。
- ・ 会報に情報掲示板などを新設し、内容の一層の充実をはかる。
- ・ 研修研究事業として、精神保健福祉法講座や精神保健福祉士実習、倫理綱領についての取り組みを企画する。

第4号議案 平成14年度予算案の提案（加納誠氏）

- ・ 事務局の運営費、総会、月例会費など昨年度実績を基に計上した。新たに、研修・研究会費を設けた。
- ・ 昨年度、日本精神保健福祉士協会が主催した精神保健福祉士全国統一模擬試験に協力した際の収入ほか149,207円が予算外にある。この取り扱いに関しては役員会に一任して欲しい。

第3号議案、第4号議案の承認

拍手をもって承認された。

ねっこの郷福祉会、理事長木村正氏より祝電をいただきました。

記念講演「これからの精神保健福祉士がめざすもの」

講師 駒木野病院事務局長 神 マチ氏

講師は、1970年から同病院でPSWをされており、昨年事務局長に就任されたとのこと。今は経営の側の立場なのだが、その視点は常にPSWの視点。穏やかな口調に秘めた専門職としての熱いものを感じました。（当日欠席の方には、講演のレジュメを添付しています。）

講演の感想

私は、以前病院でPSWをしていた時、目の前の人を「患者さん」という医療の視点で見ている。退職してから10年、再び作業所で精神に障害を持つ人と関わった時、私と同じ生活者として関わりたい、「普通のおばさんでいたい」と思った。治療の場ではなく生活の場である地域では、専門性というより生活者として同じ視点を持つことが大切だと言われていたから。でも仕事をしていく中で私は、「何かちがう」と感じ、悶々とする日々が続いていった。神さんは、精神科ソーシャルワーカーと精神保健福祉士の違いを語られた。神さんのこだ

わりの部分であるとも言える。その話を聞きながら、「そうだ、私の基本、アイデンティティはソーシャルワークにあるんだ」と気づくことができた。そして改めてソーシャルワークを学びなおしてみたいと思った。とても刺激的な話を聞くことができ、自分の立つ位置を確認できたことは、ありがたかった。

ジョイントほっと 吉田久美子

6月例会の報告

日 時 2002 年 6 月 1 日（土）14：00～17：00

会 場 京都市職員会館「かもがわ」

テーマ 新企画「こんなとき、どうする？！」

コーディネーター 立命館大学 岡田 まり氏

今回は、日々の仕事の中で困っていることや悩んでいることを出し合い、それを基にグループワークをする中で、思いを共有したり、経験を交流できたと企画されました。

コーディネーターの岡田さんから参加者にカード状の紙が配られ、「一枚の紙にひとつ、日々の仕事の中で困っていることを書いてください。簡単なことでよい。何でもいいんですよ」と。そう言われても・・・困っていることや腹立たしいことはいっぱいあるはずなのに・・・、いざとなったらなかなか書けません。隣の人の様子を観察したりしながらの思索の末約 15 分経過。やっとみんな書き終わったようです。その次は 5 つのグループにわかれての作業です。

グループメンバーが順に自分の書いたカードを説明していきます。そしてそれらを共通する内容に分類し、対処方法などについて話し合いました。

最後はお決まりの各グループからの発表です。

出された内容に、グループが違うのに同じような内容が上がったことに少し驚きながら発表を聞きました。主だった内容は、PSW という職としての悩み。例えば「退院に向けての本人と家族の考えが違っているとき PSW の立場は、どのように考えたらいいのか・・・？」「仕事の内容について、スーパーヴィジョンが受けられない。同僚で話し合ったり支えあったりしているが・・・」「若いし頼りないように見られて・・・」など。また地域や行政など社会資源の情報を得にくいことや共同作業所などの社会資源をどのようにつくっていったらよいか、思春期や青年期の心の病気を持っている人を診てくれるいい病院をさがしているんだが・・・などの悩みも出ていました。又他の職種との人間関係もストレスになっているようでした。

これらの悩みに対して、各グループでは、先輩の体験を聞いたり経験を交流したりし、それなりに有意義な場となったようです。コーディネーターの岡田さんは、「グループ発表が抽象的な内容になってしまった。数例に絞って具体的に発表してもらったら、よりリアルに問題や対処の方法を交流出来たかもしれない。しかしグループ内では突っ込んだ話ができただけで、経験や働く場の異なる人が交流できてよかった」とのことでした。

7月例会のお知らせ

テーマ 「心と体の柔軟体操」～体験学習をととして～

人の話を「きく」ことはよくしていても、意外と自分の思いを話す機会は少ないのではないのでしょうか！？暑い夏に向って心と体をリラックス！燃えつき症候群を防ぐ自己尊重ワークを体験してみませんか。

（今回の参加は経験年数 10 年未満の方に限ります）

講 師 巖 弥生子氏（川越病院）

事務局から

<<精神科救急医療情報センターについて>>

平成 14 年 6 月 14 日、京都府と京都市から京都府南部の精神科救急システムが開始されるにあたって救急情報センターの相談員を募集するという情報提供がありました（別紙資料参照）。

救急情報センターは、休日、夜間における相談業務を、京都府市が事業者に委託し、この委託事業者が、相談員を非常勤で雇用し行うものです。相談員には、精神保健福祉士が望ましいとされています。

実施においては、さまざまな意見があります。精神保健福祉士として、どのように考えるか、役員会でも議論をしているところですが、会員の皆様の意見を求めます。

事務局あて、文書、メールをお待ちしています。（期限 6 月末日）

*会費納入のおねがい

2002 年度の会費 3000 円を同封の振込用紙でお納めください。また、例会時にお持ちいただいても結構です。また未納金のある方は、あわせてお納めいただくようお願いいたします。

*現況届郵送のおねがい

現況届を、7 月 10 日までにご返送ください。来年度以降は、変更のあった方に変更届を出していただきます。すでに FAX でお送りくださった方は、申し訳ありませんが保存しますので改めて郵送をお願いします。また、現況届をもとに今年度の会員名簿を作成します。変更のあった方で現況届をお送りいただきませんと、変更前のままになります。

*会員動向

会員数	6 月 15 日現在	151 名
2001 年度退会者	田中 真佐美さん（川越病院）	東 公美さん（立命館大学）
	坪倉 きよ子さん（京都市地域医療課）	

*お知らせ

無年金障害者をなくす会～きょうと～より

- ・学生無年金障害者提訴一周年の集い

日時 2002 年 7 月 6 日(土) 13:00～16:45 会場 キャンパスプラザ京都 2 F

- ・学生無年金障害者訴訟第 5 回口頭弁論

日時 2002 年 7 月 9 日(火) 13:30～16:00 会場 京都地方裁判所 101 大法廷

※多数の方の傍聴をお願いします！

編集後記

総会後の講演のグループワークと 6 月例会のグループワークで、知りあった会員さんも多くいた。何よりもフレッシュマンが爽やかだった。そんなフレッシュマンの意見もこの会報に取り入れていきたいものだ。みなさん編集委員をしませんか？！